
第45期 第3四半期 決算説明資料

“FUKUI COMPUTER GROUP” FY2023-3Q

売上高

10,278百万円

YoY Growth + 1.3%

営業利益

4,111百万円

YoY Growth △1.8%

ARR

5,303百万円

YoY Growth + 5.8%

ARPA

14.3万円

YoY Growth +3.7%

継続取引企業社数

32,835社

YoY Growth +2.2%

Churn Rate

5.1%

FY2022-3Q 4.7%

連結損益計算書

(単位:百万円)

	FY2023 (3Q実績)	FY2022 (3Q実績)	増減率
売上高	10,278	10,144	+1.3%
営業利益	4,111	4,188	△1.8%
経常利益	4,180	4,235	△1.3%
四半期純利益	2,813	2,868	△1.9%
ROS	40.0%	41.3%	

FY2023 (通期予想)	進捗率
13,883	74.0%
5,340	77.0%
5,380	77.7%
3,541	79.5%
38.5%	

✓ 売上高は前年同期比1.3%の増加となりました。

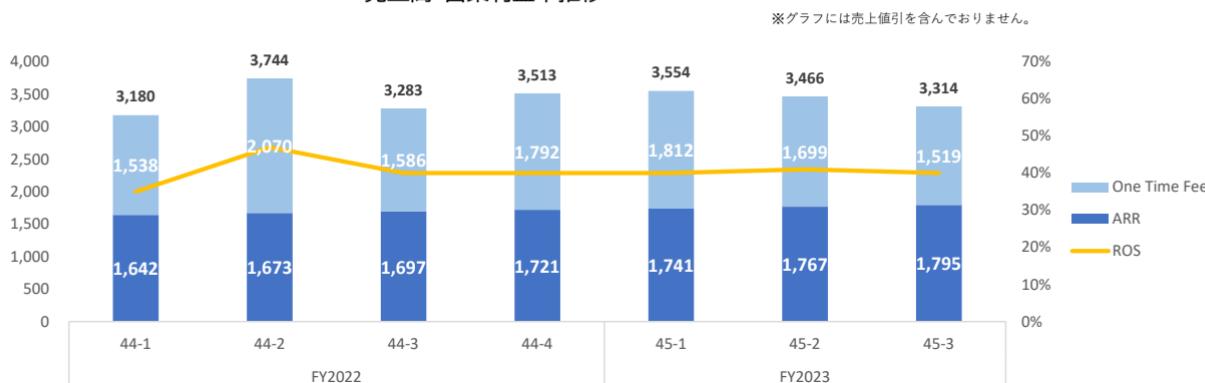
ストックビジネスが堅調に推移し増収となりましたが、人件費の増加等があり増収減益となりました。

四半期ごとの推移

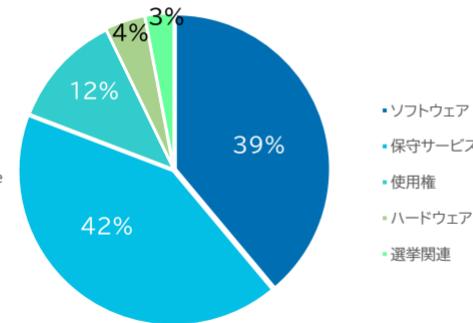
(単位:百万円)

	FY2022 実績				FY2023 実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	3,165	3,725	3,253	3,485	3,537	3,450	3,289	—
└ ARR	1,642	1,673	1,697	1,721	1,741	1,767	1,795	—
営業利益	1,108	1,767	1,311	1,395	1,403	1,487	1,220	—
経常利益	1,126	1,786	1,322	1,407	1,429	1,511	1,239	—
四半期純利益	759	1,200	908	940	968	1,006	839	—

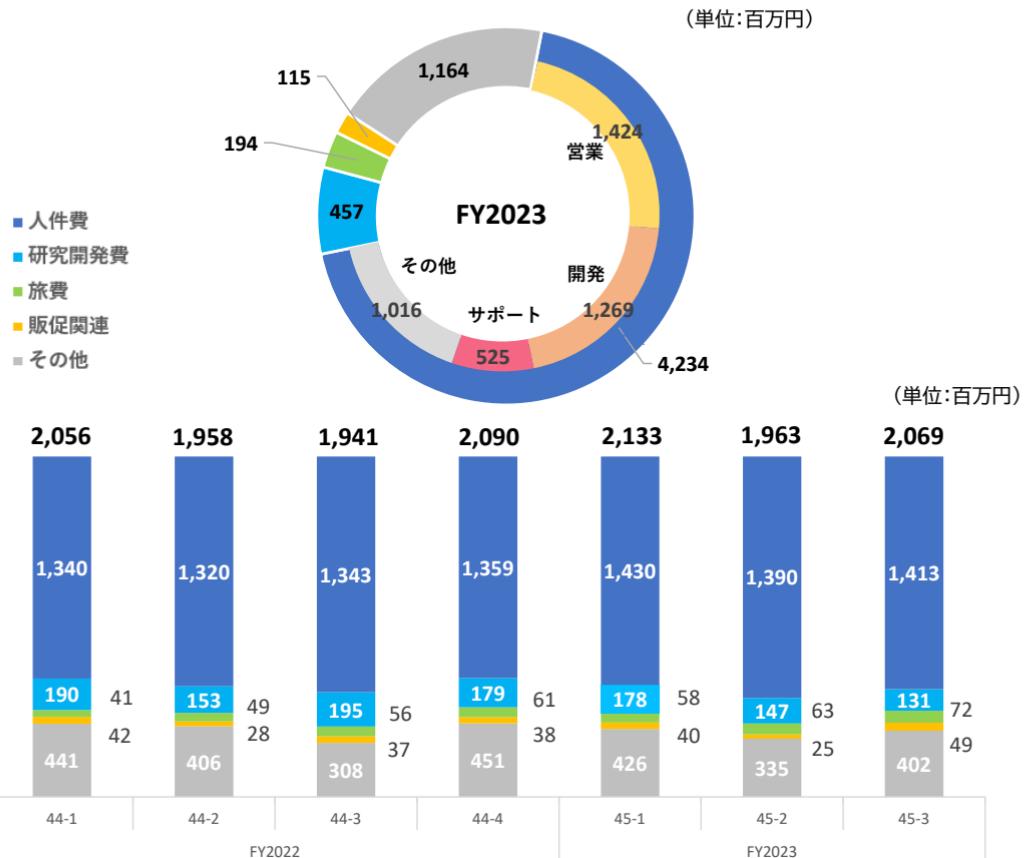
売上高・営業利益率推移



(単位:百万円)



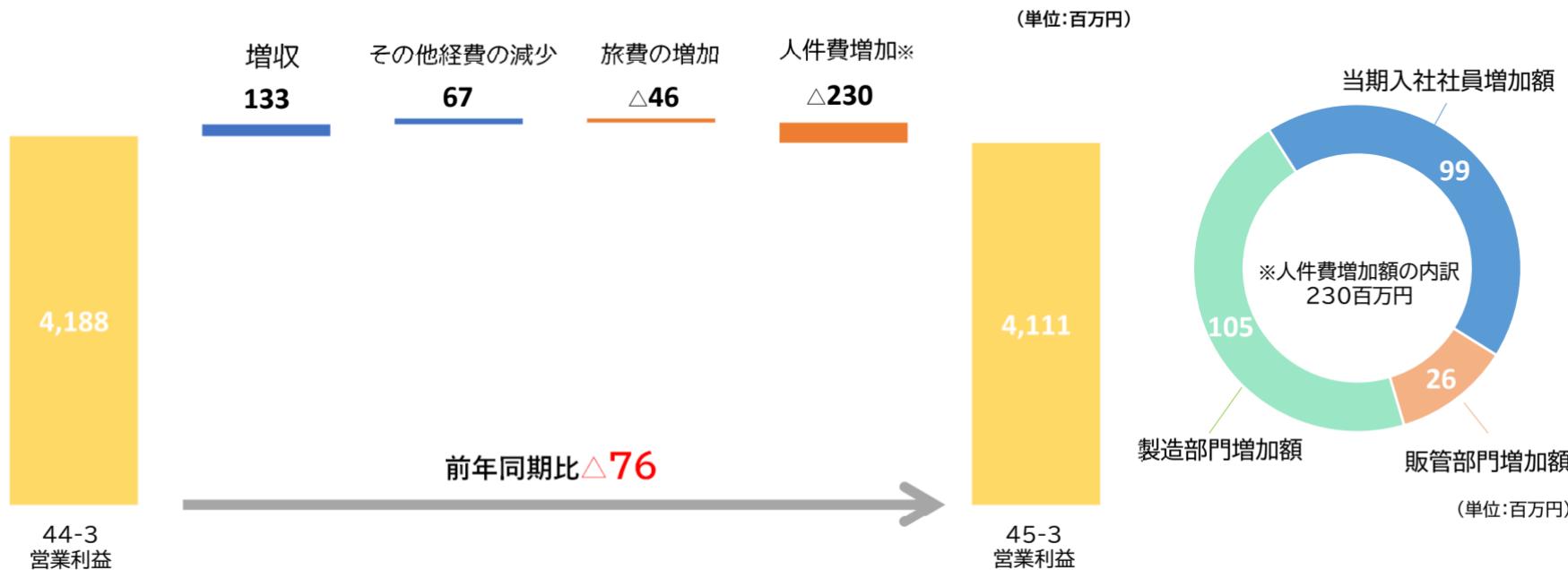
経費分析



- ✓ 人件費が約7割を占めております。社員が安心して長く働ける環境づくりを目指し、建設業全体の生産性向上に寄与する製品の提供に努めてまいります。
- ✓ 2023年4月に賃金制度を見直し、月収ベースで5%強の賃上げを実施しております。また、新入社員等の人員増加もあり、人件費が230百万円増加しております。
- ✓ 「その他」の主な内容は地代家賃・賃借料、商品売上原価、減価償却費、ロイヤリティ等です。

営業利益の増減分析

売上高が増加するも、人件費等の経費の増加により営業利益は前年同期比△76百万円



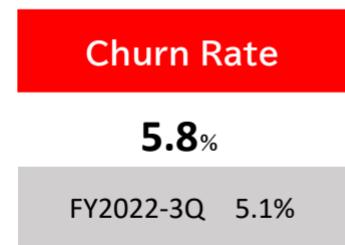
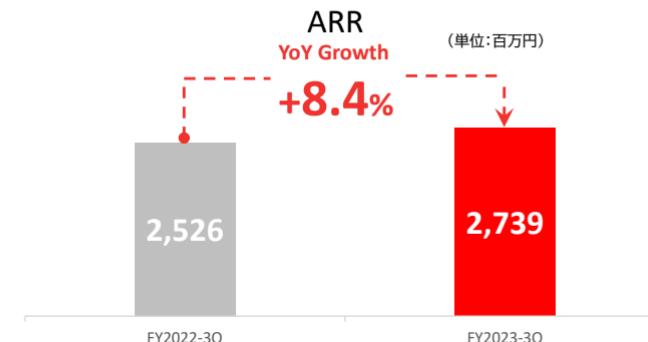
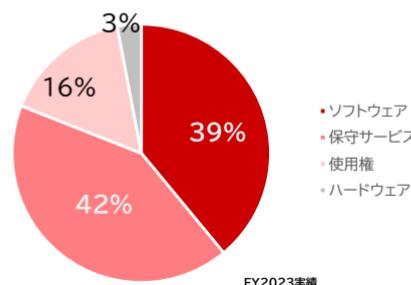
建築システム事業

- 保守サービス及び3Dカタログサイトの継続取引企業社数が堅調に推移し、ストックビジネスは伸長
- 2023年3月に「GLOOBE2023」をリリースし施工BIMの強化を図ったことにより、新規ユーザーが増加
- グループ会社間の配置転換による人員増加によって人件費が増加したこと、大型展示会への出展等、さらに営業活動を活発化したことにより旅費・展示会費等が増加し前年同期比増収減益

■四半期ごとの業績推移

(単位:百万円)

	FY2022 実績					FY2023 実績					前年同期 比累計 YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	1,422	1,561	1,543	1,561	6,089	1,480	1,615	1,650	—	4,746	+4.8%
営業利益	467	568	531	501	2,068	403	546	545	—	1,495	△4.6%



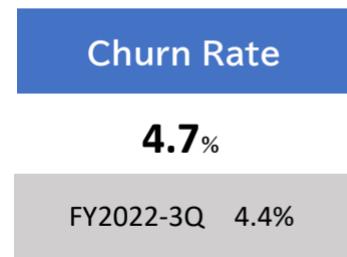
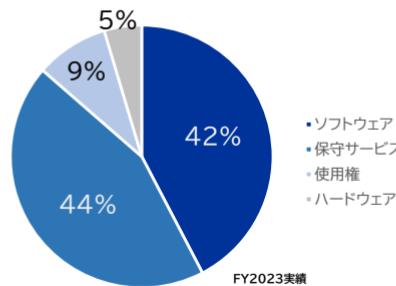
測量土木システム事業

- ・BIM/CIM原則化に伴う3次元への対応需要の拡大により点群処理ソフトを主な製品とする建設インフラ事業が好調に推移
- ・測量事業・土木事業においてもストックビジネスが底堅く推移
- ・大型展示会への出展等、さらに営業活動を活発化したことにより旅費・展示会費等が増加し前年同期比增收減益

■四半期ごとの業績推移

(単位:百万円)

	FY2022 実績					FY2023 実績					前年同期 比累計 YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	1,698	1,812	1,669	1,863	7,044	1,806	1,802	1,610	—	5,219	+0.8%
営業利益	774	927	760	877	3,338	844	900	677	—	2,422	△1.6%



ITソリューション事業

- FY2022は、2022年7月に行われた参議院選挙の出口調査システムにかかる大口の売上を計上
- FY2023は、2023年4月に行われた統一地方選挙の出口調査システムにかかる売上を計上
- 統一地方選挙は参議院選挙に比べ規模が小規模であるため、減収減益

■四半期ごとの業績推移

(単位:百万円)

	FY2022 実績					FY2023 実績					前年同期 比累計 YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	44	351	41	61	497	251	32	28	—	312	△ 28.5%
営業利益	△ 25	252	△ 18	△ 18	189	175	△ 10	△ 8	—	157	△ 24.5%

サブセグメント情報

(単位:百万円)

	FY2022 実績					FY2023 実績					前年同期 比累計 YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
住宅事業	1,096	1,196	1,172	1,178	4,642	1,095	1,195	1,231	—	3,521	+ 1.6%
建材事業	154	159	160	171	644	184	200	200	—	584	+ 23.5%
BIM事業	127	145	162	154	588	144	172	187	—	503	+ 15.9%
その他	45	62	49	60	216	57	48	33	—	138	△ 11.3%
建築システム事業一計	1,422	1,561	1,543	1,561	6,089	1,480	1,615	1,650	—	4,746	+4.8%
測量事業	745	761	714	806	3,026	777	728	674	—	2,179	△ 1.8%
土木事業	389	362	358	371	1,480	374	369	384	—	1,127	+ 1.6%
建設インフラ事業	508	628	549	645	2,330	609	657	512	—	1,778	+ 5.5%
その他	56	61	49	42	208	46	48	41	—	135	△ 18.7%
測量土木システム事業一計	1,698	1,812	1,669	1,863	7,044	1,806	1,802	1,610	—	5,219	+0.8%
ITソリューション事業	44	351	41	61	497	251	32	28	—	312	△ 28.5%
合計	3,165	3,725	3,253	3,485	13,630	3,537	3,450	3,289	—	10,278	+1.3%

FY2023 通期業績予想

(単位:百万円)

	FY2022 (前期)	FY2023 (当期予想)	増減率
売上高	13,630	13,883	+1.9%
営業利益	5,583	5,340	△4.4%
経常利益	5,643	5,380	△4.7%
当期純利益	3,809	3,541	△7.0%
1株当たり当期純利益	184円24銭	171円27銭	
1株当たり配当金	60円	65円	

業績予想

売上高13,883百万円、営業利益5,340百万円、経常利益5,380百万円、当期純利益3,541百万円を見込んでおります。

建築システム事業

住宅事業における既存パッケージソフトウェアの基本機能のバージョンアップ、またBIM事業における施工フェーズへのソリューション提供により売上増加を図りながら、ストックビジネスの拡大にも取り組んでまいります。

測量土木システム事業

国土交通省が推進する「i-Construction」、新型コロナウイルス感染症対策の一環でもあるCIM化を成長のチャンスととらえ、測量・土木・建設インフラの各セグメントにおけるブランドの確立・深堀により、継続取引社数の拡大に向け取り組んでまいります。

弊社集計基準は下記の通りです。

継続取引企業社数	前期12月末より継続して取引のある企業社数(2023/12月末時点)
ARR	ストック売上(使用権、保守サービス売上)における年間定期収益
ARPA	ARRを12月末時点の契約企業社数で割り返し算出
Churn Rate	ストック売上における継続企業社数で算出
One Time Fee	一時点で収益を認識する売上
ROS	営業利益率